



こいのぼり

こいのぼりは、田植^{たう}え祭りに神様をむかえるため、家々の目印^{めじるし}として立てられました。こいが元気にたきをのぼるといいうわれから今では、こいのように元気な子どもになることをねがって立てられるようになりました。



七夕^{たなばた}

七夕は七日^{なのかぼん}盆といわれ、お盆のはじめです。竹にねがいごとを書き、まつります。

また、わらで作った馬^{やね}を屋根にあげておくと、ごせんとさまがそれにのって天に帰るといわれていました。



お盆

お盆にはむかえ火をたいてごせんと様をむかえたり、盆おどりをして、ごせんと様をなぐさめたりします。また、はすの葉でつつんだくもつを川に流したりします。ごせんと様は、海のかなたにいと考えられていたからです。